



クリタグループは、事業を通じた社会への貢献だけでなく、事業で培った知見・知識を積極的に社会に還元し、社会から高く評価されることをめざしています。

水と環境の分野における科学技術の発展に寄与

当社は、水と環境に関する科学技術の振興に貢献することを目的として、1997年に公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団を設立しました。当社および国内グループ会社各社が運用財産として寄付金を拠出し、これを事業費として水と環境に関する調査研究に対する助成や、国際交流支援などを行っています。

主な取り組みとして、例年、国内および海外の研究者を対象として助成案件を公募しており、2017年3月期は、審査の上、決定された125件に対して助成を行いました。タイ・ベトナム・インドネシアにおける助成も2016年3月期から継続し、インドネシアで助成金贈呈式を行いました。設立から2017年3月までに延べ1,285件、約642百万円の助成を行ってきました。

2017年は財団の設立から20年を迎えるに当たり、記念事業として、東南アジア地域での研究者の重層的育成とネットワーク化を目的に、研究プロジェクトへの助成や奨学金の給付を行う予定です。



インドネシアでの助成金贈呈式の様子

災害被災地の支援

クリタグループは、事業拠点がある国や地域において大規模な自然災害などが発生した場合、被災地の支援を行う方針としています。2016年4月に発生した熊本地震への対応では、当社のプラント事業本部の熊本営業課が中心となり、お客様の要請に応え被災したプラントの復旧に取り組みました。お客様によって被災の状態もさまざまで、余震が続く中では、被災状況や危険性の把握も困難な状況が続きました。ライフラインが止まり、サプライチェーンや輸送ルートが寸断される中、

社員やその家族の安全を確保しながら、協力会社を含めたサプライチェーンや輸送ルートをあらためて構築し復旧に取り組んだ結果、お客様の納期要求を上回る早期復旧を無事故無災害で完了しました。このことにより、お客様の設備の耐震性が向上すると同時に、お客様と当社の親密性も高まる結果となりました。

加えて、クリタグループは被災された方々の救援や被災地の復旧に役立てていただくため、日本赤十字社を通して1千万円の義援金による支援を行ったほか、災害支援物資として被災地の自治体向けに計12,096リットルの「水のクリタのうまい水」を提供しました。

地域コミュニティ活動

クリタグループは、事業拠点がある地域において、構成員として受け入れられ地域コミュニティとともに発展していくことをめざしています。地域コミュニティ活動の内容は、①地域における清掃や自然保全に関する活動、②地域における健康増進や福祉に関する活動、③地域における防災や防犯に関する活動、といったものです。

2017年3月期は、クリタ開発センターの周辺において地域清掃活動を実施するなど、地域に根ざした活動を行いました。



地域清掃活動の様子